

県民参加の森林づくり

第五十六回 長野県植樹祭が開催されました



カラマツの木の下に、トチノキや小学生が育てたミズナラの苗木など広葉樹を植えました。(植樹会場)



穴を掘る人、苗木を植える人と作業を分担しました。



青空の下、大勢の人が参加しました。(式典会場)



植えた木をバックにみんなで記念撮影しました。

平成十七年五月二十一日、川上村の高登谷高原において、平成十七年度ふるさととの森林づくり県民の集い(第五十六回長野県植樹祭)が開催されました。

晴天のもと、約千五百人の参加者が間伐されたカラマツ林にトチノキやミズナラの苗木約三千本を植栽しました。

この日使ったミズナラの苗木は、佐久地域の小学生がドングリから育てたもので、自分たちの手で大切に植えられました。

穴掘りのときは、カラマツの根や大きな石に当たって苦労したりしましたが、無事に植えることができました。

作業の後は御待ちかねのお昼ごはん、主催者が用意したトン汁に舌鼓を打ちました。

みんなで植えた苗木は、やがて大きく生長し、実をつけ豊かな森林となっていくでしょう。